

第5回 定例会

◎平成17年度各会計決算を認定

◎安全で安心なまちづくり条例を制定

平成18年第5回那珂川町議会定例会は9月12日に招集され、21日までの10日間の日程で開催しました。

平成17年度各会計決算は、昨年10月1日の合併から3月までの6カ月間的那珂川町となって初めての決算です。13日の本会議において決算審査特別委員会を設置し、14日の各分科会において細部にわたり審査しました。15日に、鈴木和江決算審査特別委員長から「認定すべきもの」との報告を受けて、一般会計及び6特別会計並びに水道事業決算を賛成多数で認定しました。

その他、人権擁護委員の推薦意見、教育委員会委員の任命同意、那珂川町安全で安心なまちづくり条例の制定等の提出された議案を可決して閉会しました。

平成17年度各会計歳入歳出決算の内訳

(単位：円)

会計名		予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一	一般会計	6,200,210,000	6,467,164,646	5,921,598,618	545,566,028
特別会計	国民健康保険会計	1,140,000,000	1,263,295,606	1,092,121,074	171,174,532
	老人保健会計	1,144,800,000	1,111,418,456	1,073,492,862	37,925,594
	介護保険会計	531,700,000	537,111,320	509,400,914	27,710,406
	下水道事業会計	517,000,000	518,072,022	516,285,635	1,786,387
	農業集落排水事業会計	33,600,000	33,177,121	30,943,462	2,233,659
	簡易水道事業会計	120,000,000	125,099,171	102,085,716	23,013,455
計		9,687,310,000	10,055,338,342	9,245,928,281	809,410,061

馬頭町水道事業	収 入	支 出
収益的収支	136,927,537	123,869,920
資本的収支	13,940,237	58,770,972



- ◆平成17年度那珂川町各会計決算の認定
- 決算議会は、決算審査特別委員会を設置し、担当する常任委員会ごとの分科会を組織して審査にあたりました。なお、次のとおり要望事項をまとめました。
- 総務企画分科会
- ① 町税等の収納率の向上に一層努められたい。
 - ② 行財政改革をより積極的に推進されたい。
- 教育民生分科会
- ① 小・中学校の統廃合は、学校整備検討委員会からの答申のもとに早急に進められたい。
 - ② 国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計の収納率向上に努められたい。
- 産業建設分科会
- ① 特産物の育成に努められたい。
 - ② 企業誘致を積極的に推進されたい。
 - ③ 観光資源の有効活用を図られたい。
 - ④ 町道の維持管理に万全を期されたい。
 - ⑤ ケーブルテレビ高度化事業を積極的に推進されたい。
 - ⑥ 漏水対策に万全を期されたい。

◆平成18年度水道事業会計補正予算の専決処分承認

今回の専決処分は、昭和58年に公営企業金融公庫から借りた利率7・4%の高い利息のものを2・5%の高料金対策借換債に借り換えするための予算措置です。

◆人権擁護委員の推薦

岸 礼美さん（新任）

7月31日付で退任された藤澤義弘氏の後任として人権擁護委員候補者として法務省に推薦するための議案が提出されたもので、異議なく賛同しました。

◆教育委員会委員の任命同意

青柳 久子さん（新任）

11月28日に任期が満了する福嶋丈夫氏の後任として任命するため議会の同意を求める議案が提出され、異議なく同意しました。

◆安全で安心なまちづくり条例を制定

犯罪や事故のない生活環境の整備のために、町民自らが、生活安全意識の高揚と自主的

な安全運動を推進することにより、安全で安心に暮らすことのできる地域社会の実現を目的に制定するものです。



◆国民健康保険条例の一部改正

正

国の制度改正により、10月1日から出産育児一時金を30万円から35万円に、葬祭費を6万円から5万円に改める改正をするものです。

◆非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

正

障害者自立支援法が公布され、身体障害者福祉法に規定されている身体障害者養護施設などの障害者を支援する施設が、障害者自立支援法における障害者支援施設に移行することに伴い、地方公務員災

害補償法の改正が行われ、10月1日から施行されることから町条例についても、公務災害における介護補償に関して一部改正するものです。

◆一般会計の補正予算

町道本町舟戸線、入之内線の改良舗装工事費等の追加、農地・農業用施設、林道の災害復旧工事費の追加、町議会議員選挙及び農業委員会選挙費の確定による減額等により、3,540万円を追加して、補正後の一般会計予算総額は77億6,750万円となりました。

◆国民健康保険特別会計の補正予算

正

医療制度改正により、10月から新たに実施される保険財政共同安定化事業に1億1,150万円を追加するものです。これにより、補正後の予算総額は18億8,650万円となりました。

◆介護保険特別会計の補正予算

算

地域密着型介護サービス給付費に要する経費及び平成17年度の事業確定により超過交付となっていた支払基金への返納金など340万円を追加

したものです。これにより、補正後の予算総額は9億3,840万円となりました。

◆ケーブルテレビ事業特別会計の補正予算

有線テレビ高度化事業技術研修費など90万円を追加するものです。これにより、補正後の予算総額は5億1,090万円となりました。

◆農地災害復旧事業応急工事を町営で

去る6月15日から16日の集中豪雨により被災した、谷川地区の農地1件の災害を国庫補助事業として、町営により復旧工事を実施するものです。

場整備事業の完成により、新たに設置された道路等を境として、市町の境界の変更をしました。これにより字の廃止及び字の区域の変更を要するため提案されたものです。

◆議員の派遣

ケーブルテレビを活用し、総合的な町民の健康づくりを行うトータルケア体制を構築している福島県西会津町の行政調査や県議長会主催の自治研修会に参加するために全議員の派遣を議決したものです。

◆陳情等

6月21日に和見自治会長始め各集落自治会長から提出された「ほ場・農道河川の整備事業、主要地方道那須黒羽茂木線（和見地内道路改良工事）の要望書」については、所管する産業建設常任委員会に審査を付託しました。

産業建設常任委員会での審査の結果、要望の趣旨を理解して採択すべきものと決定した旨、岩村文郎委員長から報告がありました。

この審査結果を受けて、本会議においても委員長報告のとおり採択しました。



◆字の廃止及び字の区域の変更

大田原市黒羽大久保地区は